

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
21132	雨水管渠等整備事業	公営企業局	下水道整備課	2
51321	下水道計画事業(下水道整備課分)	公営企業局	下水道整備課	3
51321	中央処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	4
51321	西部処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	5
51321	北部処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	6
51321	北条処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	7
51321	浅海地区特定環境保全公共下水道整備事業	公営企業局	下水道整備課	8
51321	上野処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	9

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	浸水対策担当	連絡先	948-6957	
部長等名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー	西本 義明	担当	奥野 翔太	谷本 善行

1. 事業概要【Plan】

事業名	雨水管渠等整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
21132								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	災害等に強いまちをつくる		○	-	○	-		
施策	防災対策等の推進							
主な取組	浸水対策・がけ崩れ対策の推進	根拠法令	下水道法、都市計画法、第4次松山市下水道整備基本構想					
取組みの柱	浸水対策の推進							
目的・背景	公共下水道処理区内の排水路は、宅地化に伴い遊休池が激減したうえに在来水路が不良のため、降雨時に浸水が生じ生活環境が悪化していることから、雨水管渠の整備により、浸水被害の軽減を図り、市民の安全・安心を確保する。							
対象・内容	基本構想で定める10地区の整備に取り組み、現在3地区が完成し、残る7地区の浸水被害区域に対し、浸水被害を軽減するため、雨水管渠の整備を実施する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	工事請負費		1,296,114
予算(千円)	事業費計	1,860,717	2,072,288	1,697,693					
	国費・県費	746,729	796,690	547,536					
	市債	907,700	1,059,000	890,100					
	その他	36,710	7,566	3,260			補償費		19,763
	一般財源	169,578	209,032	256,797					
決算(千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な取組内容【R4】	7地区の雨水管渠整備 ・和泉・古川地区:雨水幹線工事、実施設計業務委託 ・空港通地区:雨水幹線工事 ・北条地区:移設工事 ・山西地区:雨水幹線工事 ・東山地区:雨水幹線工事 ・南江戸地区:雨水管工事 ・北条辻地区:実施設計業務委託、地質調査		
	事業費計	1,069,875	1,365,571						
	国費・県費	431,579	573,402						
	市債	501,800	688,200						
	その他	54,925	399						
	一般財源	81,571	103,570						
人役		令和3年度	令和4年度	令和5年度		特記事項	近年の浸水被害の状況から北条辻地区を追加し、令和5年度から着工予定 732,593千円をR4年度からR5年度へ繰り越し		
	正規職員	3.0	4.0	4.0					
	その他								
	合計	3.0	4.0	4.0					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	整備済地区数	目標		9	9	10	10	浸水対策の事業完了地区数を目標値とする。各地区並行して整備を進めるため、最終年度近くにならないと整備済地区数の増加・達成とならない。
		実績		3	3			
	累計で増	地区	達成率	33.3%	33.3%			
成果指標	浸水解消件数	目標		214	214	236	236	整備地区内での浸水解消件数を目標値とする。各地区並行して整備を進めるため、最終年度近くにならないと浸水解消件数の増加・達成とならない。
		実績		30	30			
	累計で増	件	達成率	14.0%	14.0%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	整備未完了の7地区を並行して整備を進めていることから、最終年度にならないと整備済地区数の達成とはならないが、それぞれの地区での整備は予定通りに進んでいるため。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続		左記の理由	第4次松山市下水道整備基本構想(令和8年度まで)に基づき計画的に事業を実施しているため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	総務・事業計画担当	連絡先	948-6819	
部長等名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー	青山 正洋	担当	伊与田 亮	村上 真

1.事業概要【Plan】

事業名	下水道計画事業(下水道整備課分)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
51321								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる			-	-	-	-	
施策	下水道等の整備							
主な取組	下水道の普及促進		根拠法令	下水道法第4条				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進							
目的・背景	昭和33年の下水道法改正により、松山公共下水道事業計画認可を受け、下水道事業に着手し、昭和37年に供用を開始した。下水道の整備を行うことにより、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質保全に資することを目的とする。							
対象・内容	松山市域のうち、公共下水道を整備する全体計画区域として、6,943.4haを対象としている。(処理人口427,526人)効率的かつ計画的な公共下水道事業を行うための企画計画検討業務を行う。							

2. 事業実施【Do】

事業費/財源	会計		款	公共下水道事業費用 公共下水道資本的支出	項	目	総係費 営業設備費
	令和3年度	令和4年度					
予算 (千円)	事業費計	14,000	44,996	10,761	主な経費 (千円) 【R4 決算】	委託料	20,655
	国費・県費	4,500	14,248	5,379			
	市債						
	その他						
	一般財源	9,500	30,748	5,382			
決算 (千円)	事業費計	14,916	20,663		主な取組 内容 【R4】	松山市下水熱ポテンシャルマップ作成及び下水熱導入可能性検討業務委託	
	国費・県費	1,478	6,339				
	市債						
	その他						
	一般財源	13,438	14,324				
人役	正規職員	0.2	0.2	0.4	特記事項	入札減少金の発生や、発注段階での業務内容精査により経費縮減に努めた。	
	その他			1.0			
	合計	0.2	0.2	1.4			

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	松山公共下水道事業計画の変更	目標	1	-	1	1	令和4年度は松山公共下水道事業計画の変更がなかった。	
		実績	1	-				
	現状維持	件	達成率	100.0%	-			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	その他						
	理由	本事業は、将来人口予測や現況の土地利用、既存の排水施設能力などの状況を総合的に判断し、現状に即した施設計画に見直す必要が生じた際に実施するもので、令和4年度は計画の変更がなかったため。						
課題	特になし	今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	松山市公共下水道事業を実施するための計画であるため。			

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	中央・上野処理区担当	連絡先	948-6541	
部長等名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー	林 昌宏	担当	隅田 勇太郎	河野 拓真

1.事業概要【Plan】

事業名	中央処理区管渠整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51321								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる			○	-	-	-	
施策	下水道等の整備							
主な取組	下水道の普及促進		根拠法令	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進							
目的・背景	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。							
対象・内容	中央浄化センターに流入する区域(3,464.2ha)のうち事業計画区域内(3,219.6ha)の249,100人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的に公共下水道の整備を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	工事請負費		466,633
予算(千円)	事業費計	1,008,933	1,156,776	905,550					
	国費・県費	196,973	247,044	252,959					
	市債	707,100	757,100	492,100					
	その他	57,246	26,956	6,630					
	一般財源	47,614	125,676	153,861					
決算(千円)	事業費計	470,688	560,842			主な取組内容【R4】	石井・久米・桑原地区の管渠整備を実施する。 ・石井2号汚水管工事 ・久米4号汚水管工事 ・桑原2号汚水管工事		
	国費・県費	83,686	113,155						
	市債	298,700	340,900						
	その他	64,142	83,711						
	一般財源	24,160	23,076						
人役	正規職員	4.7	3.7	3.7		特記事項	297,719千円をR4年度からR5年度へ繰り越し		
	その他								
	合計	4.7	3.7	3.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	整備面積(市内5処理区)		目標	5,207	5,243	5,269	5,372	第4次松山市下水道整備基本構想に基づき計画的に整備できた。	
			実績	5,281	5,322				
	累計で増	ha	達成率	101.4%	101.5%				
成果指標	下水道処理人口普及率(市内5処理区)		目標	65.0	65.6	66.3	69.0	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。	
			実績	65.2	65.8				
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.3%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	第4次松山市下水道整備基本構想(令和8年度まで)に基づき計画的に事業を実施しているため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543	
部長等名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー	木村 将伸	担当	藤野 秀彦	柿内 正徳

1.事業概要【Plan】

事業名	西部処理区管渠整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51321								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる			○	-	-	-	
施策	下水道等の整備							
主な取組	下水道の普及促進		根拠法令	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進							
目的・背景	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。							
対象・内容	西部浄化センターに流入する区域(2,354.0ha)のうち事業計画区域内(2,134.4ha)の124,720人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的に公共下水道の整備を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	工事請負費		745,677
予算(千円)	事業費計	2,383,395	2,378,959	2,622,565					
	国費・県費	654,015	586,610	590,513					
	市債	1,476,100	1,462,800	1,510,000					
	その他	77,973	7,150	19,940					
	一般財源	175,307	322,399	502,112					
決算(千円)	事業費計	1,284,482	969,828			主な取組内容【R4】	三津浜・久枝・山越地区の管渠整備を実施する。 ・中須賀1号汚水管工事 ・久枝2号汚水管工事 ・山越3号汚水管工事		
	国費・県費	348,007	297,236						
	市債	747,700	555,500						
	その他	75,044	33,277						
	一般財源	113,731	83,815						
人役	正規職員	7.1	6.4	6.2		特記事項	1,459,942千円をR4年度からR5年度へ繰り越し		
	その他								
	合計	7.1	6.4	6.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	整備面積(市内5処理区)		目標	5,207	5,243	5,269	5,372	第4次松山市下水道整備基本構想に基づき計画的に整備できた。	
			実績	5,281	5,322				
	累計で増	ha	達成率	101.4%	101.5%				
成果指標	下水道処理人口普及率(市内5処理区)		目標	65.0	65.6	66.3	69.0	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。	
			実績	65.2	65.8				
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.3%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	第4次松山市下水道整備基本構想(令和8年度まで)に基づき計画的に事業を実施しているため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543	
部長等名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー	木村 将伸	担当	藤野 秀彦	柿内 正徳

1.事業概要【Plan】

事業名	北部処理区管渠整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51321								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる			○	-	-	-	
施策	下水道等の整備							
主な取組	下水道の普及促進		根拠法令	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進							
目的・背景	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。							
対象・内容	北部浄化センターに流入する区域(531.9ha)のうち事業計画区域内(399.1ha)の16,480人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的に公共下水道の整備を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	工事請負費		283,960
予算(千円)	事業費計	551,449	517,793	246,523					
	国費・県費	87,855	99,864	42,734					
	市債	406,700	351,900	150,700					
	その他	25,661							
	一般財源	31,233	66,029	53,089					
決算(千円)	事業費計	202,987	298,239			主な取組内容【R4】	内宮地区の管渠整備を実施する。 ・内宮汚水管工事		
	国費・県費	45,931	62,728						
	市債	131,200	202,800						
	その他	14,791	10,172						
	一般財源	11,065	22,539						
人役	正規職員	1.7	1.4	0.6		特記事項	128,412千円をR4年度からR5年度へ繰り越し		
	その他								
	合計	1.7	1.4	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	整備面積(市内5処理区)		目標	5,207	5,243	5,269	5,372	第4次松山市下水道整備基本構想に基づき計画的に整備できた。	
			実績	5,281	5,322				
	累計で増	ha	達成率	101.4%	101.5%				
成果指標	下水道処理人口普及率(市内5処理区)		目標	65.0	65.6	66.3	69.0	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。	
			実績	65.2	65.8				
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.3%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	第4次松山市下水道整備基本構想(令和8年度まで)に基づき計画的に事業を実施しているため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543	
部長等名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー	木村 将伸	担当	藤野 秀彦	柿内 正徳

1.事業概要【Plan】

事業名	北条処理区管渠整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51321								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる			○	-	-	-	
施策	下水道等の整備							
主な取組	下水道の普及促進		根拠法令	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進							
目的・背景	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。							
対象・内容	北条浄化センターに流入する区域(541.6ha)のうち事業計画区域内(541.6ha)の17,730人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的に公共下水道の整備を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	委託料		213
予算(千円)	事業費計	12,312	9,841	10,685					
	国費・県費	500	1,100	1,080					
	市債	11,000	7,400	7,000					
	その他	330							
	一般財源	482	1,341	2,605					
決算(千円)	事業費計	0	213			主な取組内容【R4】	河野地区の管渠整備実施設計業務委託		
	国費・県費								
	市債		100						
	その他		113						
	一般財源								
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項	5,650千円をR4年度からR5年度へ繰り越し		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	整備面積(市内5処理区)		目標	5,207	5,243	5,269	5,372	第4次松山市下水道整備基本構想に基づき計画的に整備できた。	
			実績	5,281	5,322				
	累計で増	ha	達成率	101.4%	101.5%				
成果指標	下水道処理人口普及率(市内5処理区)		目標	65.0	65.6	66.3	69.0	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。	
			実績	65.2	65.8				
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.3%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	第4次松山市下水道整備基本構想(令和8年度まで)に基づき計画的に事業を実施しているため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543	
部長等名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー	木村 将伸	担当	藤野 秀彦	柿内 正徳

1.事業概要【Plan】

事業名	浅海地区特定環境保全公共下水道整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51321							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		○	-	-	-	
施策	下水道等の整備						
主な取組	下水道の普及促進	根拠法令	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進						
目的・背景	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。						
対象・内容	浅海地区の事業計画区域内(46.6ha)の910人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的な公共下水道の整備を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	-		0
予算(千円)	事業費計	400	400	400					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	400	400	400					
決算(千円)	事業費計	0	0			主な取組内容【R4】	地元調整及び現地調査		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源								
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項	新築による本管の延伸など突発的な対応案件なし		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	整備面積(市内5処理区)		目標	5,207	5,243	5,269	5,372	第4次松山市下水道整備基本構想に基づき計画的に整備できた。	
			実績	5,281	5,322				
	累計で増	ha	達成率	101.4%	101.5%				
成果指標	下水道処理人口普及率(市内5処理区)		目標	65.0	65.6	66.3	69.0	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。	
			実績	65.2	65.8				
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.3%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	第4次松山市下水道整備基本構想(令和8年度まで)に基づき計画的に事業を実施しているため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	中央・上野処理区担当	連絡先	948-6541	
部長等名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー	林 昌宏	担当	隅田 勇太郎	成松 亮弥

1.事業概要【Plan】

事業名	上野処理区管渠整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51321								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる			○	-	-	-	
施策	下水道等の整備							
主な取組	下水道の普及促進		根拠法令	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進							
目的・背景	松山市と砥部町の行政区域にまたがって建設された上野団地は、砥部町側は砥部町公共下水道に接続されていたものの、松山市側は集中浄化槽での汚水処理を行っており、地元住民から砥部町公共下水道への接続要望があった。そこで、関係機関との協議・検討を進め、平成30年度から新たに松山市公共下水道として位置付け、松山市側についても砥部町公共下水道に接続することとし、汚水処理を砥部町に委託する「事務の委託」により、行政区域を越えて汚水処理を行うことで、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。							
対象・内容	上野処理区の事業計画区域内(5.1ha)の338人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的な公共下水道の整備を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	工事請負費		2,143
予算(千円)	事業費計	12,321	12,806	6,685					
	国費・県費								
	市債	11,100	8,800	3,900					
	その他								
	一般財源	1,221	4,006	2,785					
決算(千円)	事業費計	3,882	3,436			主な取組内容【R4】	上野町汚水柵工事		
	国費・県費								
	市債	2,300	2,000						
	その他	122							
	一般財源	1,460	1,436						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3		特記事項	6,685千円をR4年度からR5年度へ繰り越し、計画どおり令和4年度予算(R4→5繰越)で事業完了		
	その他								
	合計	0.3	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	整備面積(市内5処理区)		目標	5,207	5,243	5,269	5,372	第4次松山市下水道整備基本構想に基づき計画的に整備できた。	
			実績	5,281	5,322				
	累計で増	ha	達成率	101.4%	101.5%				
成果指標	下水道処理人口普及率(市内5処理区)		目標	65.0	65.6	66.3	69.0	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。	
			実績	65.2	65.8				
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.3%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができたため。							
課題	特になし			今後の方向性	終期到来による廃止	左記の理由	松山市の基準に合った宅内柵の布設替を計画的に行っており、計画どおり令和4年度予算(R4→5繰越)で事業完了のため。		